

大用現前

第25号

筆入れ：高一郎代表

2018年3月吉日発行
発行人：サトウ・オカダ・ヤマモト・
ハセガワ・カワカミ・
タカハシ・クリバヤシ
(PJ6 ザビリベロ)

代表インタビューから

90年間、葛飾に根付き経営を営んできたカインズグループ。創業より常に役立つ企業として「都心より、葛飾。葛飾を代表する企業になろう」と掲げ、葛飾とともに長い年月を歩んできました。

ここまで続いた秘訣はいったい何でしょうか。そして、私たちが今よりもっと発展するために必要なことはどの様なことなのでしょう。今回、数ある理由の中からピックアップするのは、地域へのサポート活動です。

皆さんもご存じの通り、当社はいくつかのスポンサーとして様々な分野の支援を行っています。南葛SCウイングスを初めとし、葛飾納涼花火大会、日本フィルハーモニー、そして先日も記念式典にサプライズで行った堀江淳さんのラジオCMスポンサー等、幅広く行っています。その一環で、私たちが特等席で花火大会を見ることができたり、南葛SCの応援を通して仲間たちと熱い時間を過ごせたり、普通ではできない経験を享受しています。また、この活動を通してカインズの名は葛飾区内でも定着し地域の方々と共に歩む企業として発展を続けています。

スポンサー活動の中でも特に力を入れているのが南葛SCの支援活動ではないでしょうか。サッカー選手として葛飾を背負う女性たちを応援したいという気持ちと、次世代を担う子供たちに葛飾から夢を持たせたいという思い、葛飾という地で頑張るもの同士、共に葛飾をどんと



ん盛り上げていこうという気持ちももたせていることは、皆さんもご存知のことだと思います。

代表は常に「皆で、一緒にやって創り上げていく」という事にこだわりを持っていらっしゃるように感じます。それは仕事の場でも、親和会行事の時にも「アの部分にあるのではないのでしょうか。」人ではできないことも、皆で力を合わせれば成し遂げられるという想いを感じます。

私は物事を内輪に見てしまいがちで、大きな目標にお届けすることがあります。そんな大それたことは自分に出来ないのではないかと、失敗したらどうしようなどと考えてしまいます。しかし、代表はもともと外に目が向いていて、きつ然と前を向き「皆で会社を良くしよう。皆で一緒に力を合わせよう。そして全員で向上していこう」と強くお考えです。自分一人が良ければいいという事ではなく、そこには常に人がいて、地域がある、その中で共存していこうという「和」の気持ちが広がります。「和」は輪になって広がり大きく私たちを包み、一人

ではできないことも皆でならできるといふ「信頼」からの自信につながるっていくのだと感じます。社訓には4つの言葉があります。一言に誠実なサービス精神を發揮「すること」で、「和を考えて行動」でき、それが私たちの良い職場環境になる為に「開発精神をもつて創意工夫」する仕事につながります。その仕事で私たち社員ひいては会社、そしてもっと大きく「社会に貢献する」ことに繋がるのではないのでしょうか。そしてまた、社会に貢献することで会社の発展につながるという良い流れが循環する企業であればこそ、この先100年、200年と迎えることができるのではないのでしょうか。

代表からお話を聞いてみると、代表が描いている目標には会社の



発展はもとより、社員一人一人の幸せ、ひいては社員を取り巻くすべての環境の充実と幸福を目標とされているのだと感じました。南葛SCの応援をはじめ、皆で楽しめる花火大会、演劇、そして月に一度の親和会イベント（これはスポンサー業ではないですが）を通して、みんなで共通の経験を通して結束力を高めたいと思います。そして、長く続く会社を私たちがみんなで作っていきましょう。

最後にインタビュー中に代表のおちやめな野望をお聞きしたので皆さんにお伝えします。「俺、タレントになろうかな」葛飾を代表するタレントになっていただき、当社の広告塔としても活躍していただきたいですね。

記事 タカハシ

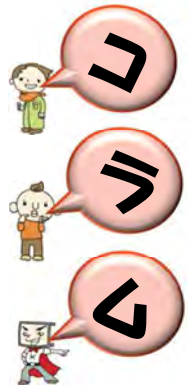
90周年記念パーティー

12月22日（土）、ロイヤルパークホテルにおいて、カインズグループの90周年パーティーが開催されました。当日は午前中に社員勉強会が行われ、午後からは普段お世話になっている協力会社様をお招きして執り行われました。パーティーは協力会社様の方々の歓談、ビンゴ大会そして特別ゲストとして堀江淳さんをお迎えし、大いに盛り上がりました。皆さんもとても楽しいひとときを過ごすことができたのではないのでしょうか。



パイオニア様、創業80周年おめでとうございます。
実は協力会社の富士セイラ様も創業90周年を迎えられたそうです。

カインズマン



★今期は毎号、社員の方に自分自身のことについて語っていただくコラムを掲載していきます。

●第2回はカネコ常務です。カネコの新社長に就任され、これからの抱負を語っていただきました。

カネコ新社長としての抱負

社会人生活20年、当グループ入社前も含め、とても書ききれない様々な経験をしました。しかしながらどれも中途半端で、何となく時間を過ごしてしまっただけに思っています。それに比べ、当グループの社員は、仕事や仕事以外でも、真面目で本当に感心します。組織が停滞している時に「どうすれば人は動くのか?」「と悪い悩む場面があると思います。極めて単純ですが、それは人を「感動」させること。そして自分も含め、今後地位が高くなっていく人には特に大切な事ですが、会社というのは世間、大衆を離れては成り立たないということ。直接、間接に、いろいろな形で社会とつながっています。ですから、自分の一挙手一投足が、会社を通じて社会とつながりを持っていくという自覚と、責任感を持ち、私たちの活動が社会に良い結果、感動を与えられる存在になれるように邁進していきたいと存じますので、これからもよろしくお願います。

記事 カネコ常務

高橋



5年7ヶ月勤められたハインズ事業室の高橋室長が定年を迎えられました。当グループのハインズ事業の立ち上げに多大なるご尽力をいただきました。今まで本当にありがとうございました。いろいろお世話になりました。

室長

長い間お疲れさまでした



PJ6 LinKチームからのお知らせ

感染症対策

今年に入り何十年ぶりとも言われる強烈な最強寒波が襲来し、インフルエンザも猛威を振るっています。インフルエンザの患者数は過去最高を更新し続け1111万人を超えました。例年は12月頃からA型が流行し始め、遅れて2月3月にB型が流行するパターンが多いのですが、今シーズンはA型・B型が同時に流行しています。インフルエンザウィルスは感染力が非常に強い為、複数の型が同時流行しているとワンシーズンに次々違う型に感染してしまう連続感染やトリプル感染、抵抗力が落ちていればノロウィルスによる感染性胃腸炎などの感染症にもかかりやすくなります。

◆予防方法◆

最大の予防方法は流行前にインフルエンザワクチンの接種を受けることです。確かにワクチンを接種したから絶対にかからないとは言えません。接種してもかかることもあります。ワクチン接種の最大の目的はインフルエンザに感染しにくくなること、かかっても軽い症状で済むことです。カインズグループでは代表の理解もあり、福利厚生生の「環」としてインフルエンザワクチン接種にかかる費用の一部補助が受けられます。日常生活における予防法は、正しい手洗い（正しい手洗い方法は、ポスター参照）、人混みを避けマスクを着用する、栄養と休養を十分にとる、室内の換気と湿度に気を付けること、咳エチケットを徹底しましょう。

代表後記

今月の代表インタビューの通り会社は葛飾区を中心に様々な文化支援をしております。それだけ区内の人たちからも「カインズグループ」が注目を浴びております。ただ単に会社が注目されるだけのために資金を投入することはありません。そこには紐づいて「区内(国内)の文化活動を支えていく」グループへの入社に対する好印象「一つのことを社員全体が一体となって応援する」などの目的があります。企業とは自分たちだけではありません。常には様々な人たちに支えられて経営が成り立ち、自分たちの仕事も成り立っています。その恩返しでもあることを忘れないで下さい。

最近、大用現前の代表後記枠が大きくなってきています。その時その時のチームが作成するので毎年カラーが変わりますが、今年のチームはネタ切れになっていませんか? 私の考えを展開する趣旨ではあるものの、みんなのことも情報発信する有効手段として捉え、もっとみんなが知りたいことなど内容を再吟味してはいかがでしょうか?

◆感染してしまったら◆

ワクチンも接種した、手洗いもちゃんとしている、マスクの着用もしていても本意に感染してしまつたことがあります。インフルエンザと疑われる症状が出たら、医療機関を早めに受診し、医師の指示に従った治療を受ける、安静にして休養をとる、水分も十分にとる、咳やくしゃみで周囲に二次感染させないために不織布製の使い捨てマスクを着用することが必要になります。もちろん人混みや繁華街への外出は控えてください。職場や学校に無理して行くのもNGです。インフルエンザにかかれば、5日間出勤停止になり仕事に多大な影響が出ます。困るのは自分だけではありません。周囲の人に迷惑をかけない為にも自分で出来る予防はしっかりとやりましょう。